

市町村名	①認定調査は早期に行っていたか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
千葉市 (6区まとめ)	可能な限り早期に調査が実施できるよう調整している。	把握している範囲:9件 (中央区:不明 花見川区:1件 稲毛区:1件 緑区:0件 美浜区:7件 若葉区:事例あるも件数不明) 〔美浜区の場合〕 入院中に状態不安定のため調査延期:1例 申請日から10日以内に死亡:4例 (内 申請日当日死亡:3例) 主治医より退院見込なしと言われた:1例	介護2以上:102名 介護1以下: 34名 (2号被保険者のみの集計)	不明	・1号被保険者の中から末期がん患者を探すのが困難なため、末期がんを特定疾病として申請された2号被保険者を調査対象としています。(今回の依頼日より1年前までの方を対象) ・主治医意見書提出の遅れから、認定結果通知の遅延が発生しているため、期限内の提出に協力していただきたいです。
市川市	迅速な介護認定審査に努めている。申請時にがん末期と判明した場合、その場で訪問調査日を決めすぐに調査を行っている。 主治医意見書も同日または翌日に「がん末期ということが申請書に書かれてあったので、早急に意見書を書いていただきたい」旨のメモをつけて依頼している。 調査票と意見書が揃った時点で、直近の介護認定審査会で資料を配布し審査している。また、認定調査時やケアマネ等からがん末期との連絡が入った場合も同様に処理し審査している。	あり。 (申請日の当日または翌日に亡くなった例あり)	がん末期と診断された方:99名 介護2以上:88名 介護1以下:11名 (平成21年4月～平成22年2月12日)	なし	がん末期に限らず、申請された方は要介護認定を心待ちにしております。 主治医意見書の作成に時間がかかり、何度も家族やケアマネから催促を受けることが多くあります。是非、迅速な主治医意見書の作成がされるよう周知していただきたくお願い申し上げます。

*県内56市町村(36市17町3村)あてに依頼(回答:31市15町2村)

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っているか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
船橋市	行っている。	<p>例1:申請直後に連絡をし、翌日午前中の調査予定を組んだところ、訪問当日の朝、家族より死亡したとの連絡を受けた。(入院中の申請で暫定利用なし)</p> <p>例2:早急に連絡し、調査日は決まっていたが、家族より調査延期の連絡があり、すぐに調査に行ける体制をとって家族からの連絡を待っていた。しかし、連絡がないまま6日後に病院より死亡の連絡があった。(入院中の申請で暫定利用なし)</p>	<p>介護2以上:35名 介護1以下:15名 (平成21年4月~12月)</p>	なし	<p>ご依頼の件について対応を協議し、内規を作って申請から認定までの手続きが迅速に行われるよう配慮している。</p>
習志野市	可能な限り、早期に調査の日程を設定している。	入院中で認定調査が入る前に死亡されたケースは13件程度であるが、在宅ではない。		認定調査前に死亡され、自費になった例はないが、本人死亡後に認定は出たが、その介護度の限度額より多くサービスを利用しており、差額分が自費になったケースが1件ある。	
八千代市	なるべく早い日程で行うよう努めている。	4例あった。	<p>介護2以上:18名 介護1以下:7名</p>	サービス利用が自費となったケースが1例あった。救済のなされた例はなし。	
鎌ヶ谷市	可能な限り早期に行っている。	件数は把握していないが、過去に例あり。	件数は把握していないが、自宅等で早期に調査を行った場合は、介護1以下になる傾向もある。	把握していないが、救済措置はなし。	

市町村名	①認定調査は早期に行っているか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
浦安市	必要であれば申請いただいた(相談いただいた)日のうちに伺うこともある。また、その時点でベッドレンタル・訪問看護・ヘルパー派遣などの介護サービスも暫定プランという形をとり、すぐに手配している。この流れには地域の在宅往診医の協力によるものが大きく、介護保険課やケアマネとクリニックの連携で患者のニーズにスムーズに対応する努力を続けている。	なし そのような事態を招かないよう、左記のような対応をしている。	2号被保険者: 17件 そのうち入院等そのまま死亡に至り取り下げたもの: 5件 介護2以上: 9件 介護1以下: 3件(このうち2件は後に区分変更申請している) (平成21年4月~12月)	なし	40歳以上の方であれば、介護保険制度の中で左記のような支援ができるのですが、39歳以下の若年の方への在宅療養支援が大きな課題です。
松戸市	申請時に把握した方に対して早期に対応している。	2号被保険者のみ管理: 19件 (平成21年4月~平成22年2月)	介護2以上: 88名 介護1以下: 20名 (平成21年1月~平成22年2月) (2号被保険者のみ)	把握していない	
野田市	行っている	2号被保険者: がん末期7件 (平成21年4月~平成22年1月)	介護2以上: 13名 介護1以下: 4名 (平成21年4月~平成22年1月) (2号被保険者: がん末期申請者 17名)	2号被保険者: がん末期1件 (平成21年4月~平成22年1月) 救済はなし	
柏市	行っている。 (死亡の恐れがある場合は特に緊急に行っている)	早期の調査を行っているため、死亡の例はない。	統計なし	認定調査前に死亡例はない。 (緊急の調査を行っているため)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き主治医意見書の迅速な作成をお願いします。 審査会において、がん末期の判断が困難な意見書が見受けられますので、記載に配慮いただきたい。 (場合によっては、意見書様式の改定を厚労省に働きかけてください)

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っているか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
流山市	できるだけ優先して、1週間から10日以内で認定調査を行っている。	ある。 (申請後3日後に死亡した例など数件ある)	人数は把握していないが、近い将来容体が急変し(主治医意見書や特記事項から判断できる場合)介護ベッド等が必要となることを認定審査会で判断して、介護2以上と判定されることが多い。	自費となった例はある。 (暫定プランで介護ベッドを利用し、家族の同意を得て自費を覚悟で先行して、福祉用具レンタルをしたもの)	
我孫子市	申請があつてから、1週間以内に調査に入っている。早い時は翌日のこともある。	特に集計は取っていないが、今年度は2件発生している。	集計は取っていないが、認定審査会総会で、末期診断が出ている方は介護2以上の認定と検討するよう申合せがあつた。	なし。 入院中のためサービスの利用はなく、調査も病院で行う予定であつた。	
八街市	がん末期の申請については、優先して調査するよう早期に行っている。	がん末期の患者についてはない。	介護2以上:6名 介護1以下:2名 (平成21年2月～平成22年1月)	なし	今回の2号被保険者の末期がんの人数は、1号被保険者については意見書に末期がんの記入がなく、人数の把握ができなかった。 内訳 要介護5…3名 要介護4…1名 要介護3…1名 要介護2…1名 要介護1…1名 要支援1…1名 合計8名
富里市	早急にサービスを必要としているので、認定調査も早期に実施している。	あるが、入院中の方がほとんどである。(医療保険適用中)	抽出期間によっては集計が難しい場合があり、不明	現在のところなし。	

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っていたか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
成田市	早い方の場合は、申請と調査を同時に行っている。その他の方も概ね10日以内には調査を終えている。	2例	申請された方が全体で46例 そのうち、介護2以上:25名 介護1以下:8名 (サービス未利用のため取下げをした方:13名)	なし	平成18年4月から現在(平成22年2月26日)までに「がん末期」で2号申請された方についてのデータとなっている。
印西市	できる限り早期に調査できるよう対応している。	なし	要介護2以上:4名 要介護1以下:1名	なし	人数は、現在生存している2号被保険者のみ
佐倉市	申請から認定調査までの平均日数は7日だが、可能な限り早目に認定調査ができるよう調整をしておき、最短では申請日の翌日に認定調査を行っている。	16名(延数18名)中、3名が調査前に死亡されている。	2月16日現在、認定が出ている延12名のうち、要介護2以上は7名 要介護1以下は5名	自費となった例はなし。	左記データは、平成21年3月から平成22年1月までに申請された、がん末期の2号被保険者実16名、延18名の状況。 1号被保険者は原因疾患を問わず申請できるため、疾患別の統計は取っておらず、がん末期の患者の特定はできない。
栄町	早目に行っているが、主治医意見書の遅延により結果通知が遅くなった例がある。	病室に認定調査に行くと、急変し蘇生を行っていたことがあった。死亡例はなし。	平成21年4月～平成22年1月の期間において、2号被保険者で4名 内訳 非該当…1名 要支援1…1名 要支援2…1名 要介護…1名	なし	
印旛村	早期に対応するように調整している。(2・3日～1週間以内)	調査後、病院で亡くなられた方はいたが、調査前はいない。	不明	なし	電動ベッド等の福祉用具レンタルは、軽度認定の方の場合は、例外給付として対応している。

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っていたか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
香取市	可能な限り配慮している。	傷病名での管理を行っていないため、人数については不明	傷病名での管理を行っていないため、人数については不明		
旭市	申請者の状態に合わせ、申請日当日を含め、遅くとも1週間以内には実施している。	なし (調査直後、認定結果が出る前になるケースが多い)	介護2以上:4名 介護1以下:4名 (平成21年2月～平成22年1月)	自費となったケースはなし。 (認定結果が出る前に死亡してしまった場合、主治医より意見書の提出をお願いし、認定結果を出しているため)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査時点では自立していることが多く結果が軽度に出やすい。 ・状態が悪化し、区分変更申請をしても結果が間に合わないケースが多い。
銚子市	遅くとも申請日から1週間以内に調査を実施している。	過去1年の間にはなし	データを取っていないので不明	過去1年の間にはなし	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医意見書についての指導をお願いします。 例)新規申請で意見書の遅れにより、認定結果通知と更新通知を同時に郵送したケースあり。 意見書の「傷病に関する意見」や「特記すべき事項」欄に何も書いていなかったり、書いてあっても単語の記載だけのものがある。 ・医療関係者から言われて新規申請をするケースがよくありますが、その場合に退院の予定やサービスの利用希望もないこともあり、こちらで説明してもなかなか理解が得られません。患者さんや家族は、病院から言われたことはやらなければならないと思っていますので、本人や家族の状況を考慮してアドバイスをしていただきたい。

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っているか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
東庄町	介護申請後、暫定で介護サービスを利用する方については早期に実施している。	なし	なし(病名については把握できない)	なし	
多古町	行っている	なし	介護2以上:0名 介護1以下:2名	なし	
山武市	早期に行っている。	なし	把握が困難		審査判定について調査の書類と医師の意見書が必要です。認定調査も早期を心がけておりますので、意見書についても早期にお願いできたらと思います。
九十九里町	できるだけ早期に調査するよう心がけている。	なし	人数を把握できない。 最近の認定者で介護1と判定された方が1名 ほとんどのがん末期の認定者は、介護2以上と思われる。	なし	
大網白里町	最優先で、ケアマネも当日立ち会って翌日にでも退院できる位に準備させていただいている。	なし	介護2以上:5名 介護1以下:(支援1:1名) →2ヶ月後、区分変更で介護2 (平成21年4月～現在)		意見書にがん末期の記載がなく、介護度が低いこともあり記載がない場合は、医師に確認し記入していただいております。

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っていたか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
芝山町	早期に行っている。	なし	今年度、意見書にがん末期と記入されたケースはなかった。	なし	認定調査は済んでいるが、意見書が届かず認定に至らなかったケースが数件あり。 意見書をいただけるよう数度TEL入れるもいただけませんでした。
横芝光町	1週間以内に行っている。	例:調査の約束をしたが、亡くなってしまった。	介護2以上:1名 介護1以下:0名 (申請されたが、調査する前に亡くなる方が多く、認定される方が少ない)		
東金市	早期に行っている。	昨年2月より1件	がん末期の方のデータは把握していない。	昨年2月より1件 救済例はなし	
茂原市	調査日程を調整し、できる限り早期に認定調査を実施している。	この1年間についてはなし。	がん末期の申請者として統計を行っていないため、要介護度別の人数については把握していない。	自費となった例は聞いていない。 仮に認定調査前に亡くなり、サービス利用されていた場合については、救済措置はない。	
一宮町	行っている。	なし 調査前に再入院になり、退院の見込みがないため家族が申請を取り下げた例あり。	把握していない	なし	
白子町	行っている。	1名 (申請書提出後3日で死亡)	介護2以上:3名 介護1以下:1名 (平成21年4月～)	なし	

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っているか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
睦沢町	行っている。 申請日当日、調査に訪問した事例あり。	認定調査前に死亡した例はないが、一次・二次判定前に死亡する例が数例あり。	介護2以上:8名 介護1以下:2名 (平成21年2月～平成22年1月)	認定調査前に死亡した例はなく、自費もなし。	2名の方が要支援1・2と判定され要支援2の方は認定調査1週間後に状態が悪化し、寝たきりの状態になる。 要支援1の方は認定後入院となる。 がん末期の方は痛みがないとADL面でできる部分が多く、軽く判定されることもあるが、進行性の病気から二次判定においては考慮が必要。
大多喜町	行っている。申請日より2～3日以内には行っている。 早いときはその当日	なし	介護2以上:9名 介護1以下:2名 (平成21年度)	なし	
長柄町	できるだけ早期に調査できるよう対応している。	1件	介護2以上:2名(介護4、介護3) 介護1以下:1名(介護1)	入院中で退院後に調査するようになっていたため、介護保険サービスを利用しておらず自費はなし。	

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っていたか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
長南町	家族、病院のソーシャルワーカー等と連絡調整を図り、なるべく早く行けるように対応している。	なし	介護2以上:5名 介護1以下:2名	なし	認定の結果が出る前に亡くなられてしまうことがある。(認定調査を早期対応していても、主治医意見書が遅い場合がある)
長生村	早急にサービスが必要な方は行っている。	なし	介護2以上:2名 介護1以下:4名 サービス未使用で死亡し、認定取下げ:1名	相談と同時に調査を行うようにしており、例がない。	全ての方が介護サービスを必要としておらず、形式のように申請されても患者さんや家族の負担になる場合もある。 がん末期のみならず、退院時の介護保険申請については、包括支援センター(直営)と病院が連携できるようにしている。 村独自のサービスもあるので、金銭面や契約等の煩わしさの軽減が可能なこともある。
勝浦市	できるだけ最優先に調査している。 (申請時にがん末期であるという情報を得ることができたなら)	なし	介護2以上:4名 介護1以下:2名 (平成21年9月～平成22年2月8日)	認定調査前に死亡されたケースがないため、自費になったケースはなし。	福祉用具貸与で「介護認定軽度者の特例給付」の中に末期がんの貸与は認められています。 当市では、ケアマネから相談された場合、末期がんであることの確認がされたら認めていますので、給付できなくて困ったというケースはありません。

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っているか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
御宿町	行っている	なし	介護2以上:2名 介護1以下:0名	なし	
館山市	行っている	1件(退院前日に申請があり、退院翌日に調査する予定だったが、調査予定当日に死亡。サービス利用なかったため却下)	病名での件数把握はしておらず集計不可。2号被保険者のみの把握 [参考]2号被保険者 (平成21年4月～) 新規申請9件中 介護2以上:6件 介護1以下:1件 認定前却下 2件(内未調査1件、調査済1件)	なし	
南房総市	可能な限り早く調査に行けるようにしている。	なし	介護2以上:30名 介護1以下: 1名 (過去6ヶ月分参照)	なし	
鴨川市	速やかに対応をしている。家族と連携を取りながら「呼吸状態が変わってきたので、すぐに来てください」という事例もあった。調査後、数日あるいは翌日に亡くなった例もある。	3年前に1例あり	がん末期のみで統計はとっていないが、実際に訪問した際には、他の人の手を借りることなく、何とか日常の事が出来ている例は多く、ただ急速に低下していくので、審査会でも意見書を鑑み、急速に悪化するであろうとの予測をもとに結果も考えてくれている。	急死により認定調査が行えず、すでにベッドをレンタルしていたケースが1例あった。この時は事業者側で負担をしてくれた。	がん末期の場合は、認定結果が出る前に亡くなることもある。希望サービスもベッドレンタルが多く、暫定で使用する例が殆ど。認定調査を速やかに実施し、認定結果を出すべく努力をしているが、医療保険での対応を検討する必要があると思う。
鋸南町	行っている	なし	介護2以上:2名 介護1以下:0名 (平成21年2月～平成22年1月)	なし	

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っていたか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
木更津市	申請の際に状況を確認し、必要時早期に対応している。	なし	特定疾病(2号被保険者)のみで調査 介護2以上:13名 介護1以下:5名 (平成21年4月～平成22年2月)	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・認定調査の内容がADL、認知機能への比重が大きくがん末期の状況に対応しきれず、介護度が低くなる場合がある。「がん末期」の診断が判定に反映するような仕組みが必要。 ・新規申請で非該当と認定され、数ヶ月後再申請した例がある。
君津市	調査は迅速に行っている。	なし	集計していない	なし	
袖ヶ浦市	がん末期の方については、早期に調査に何うようになっている。	死亡された後に、がんであった(末期ではなかった)ことを聞かされた例はあったが、事前にごん末期とわかっていて、認定調査前に死亡されたことはない。	平成21年3月～平成22年1月までの申請者:1926名 (主治医意見書に『がん』の記載があった対象者:150名 主治医意見書に『がん末期』の記載があった対象者:10名) 介護2以上:5名(要介護2:1名、要介護3:1名、要介護5:3名) 介護1以下:4名(要支援:1名、要支援2:3名) *その他1名については、申請取下げ	②で回答したケースでは、福祉用具(ベッドレンタル)をしていたようだが、利用日数が2～3日だったため、請求はされなかったと聞いている。 市独自の救済措置はしていない。 ケアマネには、事前にごん末期の方の場合、認定調査が実施できなかった場合は自費になる可能性があることをご家族・ご本人に伝えていただくようになっている。	病院等に入院していて、在宅で最期を迎えるために介護保険の申請をするケースがありますが、申請の時期が遅いように感じます。「あと1週間もつかもたないかわかりません。何とかしてください。」と言われても対応できない場合も出てくるかと思えます。そのため、在宅で最期を過ごしたいという希望がある場合には、申請を早めにいただければ幸いです。 また医師によっては、亡くなった方の意見書を記入することはできないというご意見も伺っております。現在のところ記入していただいておりますが、どうしても記入できないということになりますと、調査が済んでも認定が出ないことが想定されますので、意見書記入にご協力いただきますようお願いいたします。

がん末期患者の認定調査(各市町村からの回答)

2010年2月調べ

市町村名	①認定調査は早期に行っていたか。	②認定調査前に死亡例があったか。	③意見書でがん末期と診断された方のうち、介護2以上と判定された方の人数 介護1以下と判定された方の人数	④認定調査前に死亡の場合、介護保険サービス利用が自費となった例があったか。また何らかの救済例があったか。	⑤その他
市原市	新規申請の方で、申請後がん末期という情報を受けたら、1週間以内に調査を行っている。	申請後、認定調査が入る前に死亡されたケースはあった。	第2号被保険者でがん末期の方:63名 63名のうち、介護2以上:44名 介護1以下:19名 (平成20年度:2号被保険者に限定した人数)	現在のところ、介護保険サービス利用が自費となったという報告は受けていない。	